

1. 日 時 平成 30 年 12 月 19 日(水) 13:30～15:00

2. 開催場所 中央区役所 3 階 A 会議室

3. 議 題

- (1) 平成 30 年度上半期中央区内地域包括支援センターの運営状況
  - ① 各センターの月別報告書
  - ② 地域包括支援センター連絡会等の実施状況
- (2) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取扱いについて
- (3) 平成 30 年度第 1 回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告
  - ① あんしんすこやかセンター運営評価について (結果)
- (4) 区運営協議会の実施回数について (提案)

(以下非公開)

- (5) 地域包括ケア充実のための事業目標について
- (6) 特定事業所へのサービス集中率について

4. 当日出された主な意見・質問と事務局回答 (要旨)

- ・高齢者数によって相談数などにバラつきがあるのがよくわかる。
- ・来所相談数などは、高齢者数から見れば多くの割合の方が利用しているセンターがある。
- ・総合相談業務について利用者アンケートを実施しているとのことだがどういったものか。  
→ (事務局回答)  
応対した後にはがきを渡してアンケートを投函してもらう方式。毎年時期をずらしながら、2ヶ月間かけて実施している。
- ・通所リハビリサービスについて、要支援の人については病院のリハビリと同様に、短期間通所リハビリを利用し、回復して利用終了することが重要かと思う。デイサービスのように介護負担軽減のためなど継続的に利用するサービスとは目的が異なるのではないだろうか。  
→ (事務局回答)  
通所リハビリの利用期間については精査されていない現状である。ご意見として所管に伝えたい。
- ・総合事業でのリハビリが開始となったが、従来の通所リハビリの利用が多いのだろうか。  
→ (事務局回答)  
総合事業での短期集中リハビリの利用が開始しているが、送迎がないこともあり、利用者が少ないと聞いている。一部送迎対応を始めたり、制度を改良しているところではあるが、認定を受けて送迎付きの通所リハビリを利用される方が多く、まだまだ制度が軌道に乗っておらず、周知も十分でないと考えます。
- ・災害時のあんしんすこやかセンターの役割などはどうなっているのか。  
→ (事務局回答)  
議論を進めているところではあるが、救助や直接支援を行うといったことではなく、現状を把握して情報を収集し、必要な部署につなぐような役割が想定されている。要支援の方については、ケアマネジャーとして安否の確認やサービスの調整を行うこともあるかと思うが、今年の台風などの予測できる災害については事前に調整を行ったと聞いている。
- ・区社協としては災害時にボランティアセンターなど活動を行ううえで、個々のケースにつ

いてあんしんすこやかセンターに問い合わせをすることは可能だろうか。

→（事務局回答）

ケースの対応緊急度や数にもよると思うが、区役所としても必要に応じてセンターから情報収集して対応することが想定される。しかし、多機関からの連絡が集中すると現状の体制では対応できないことも考えられるため、連携は不可欠であるが、今後も災害時の連携の方法については検討を重ねる必要があると考えている。

- 平時の見守りと災害時対応をしっかりとつないでいきたいと考えており、今後もあんしんすこやかセンターと連携を深めていきたい。
- 大規模災害時にはセンターといった小規模の機関のみでの対応は難しいと思われるので、センターとしては圏域の高齢者の必要な情報を提供できるようにしておくことが重要である。

→（事務局回答）

あんしんすこやかセンターについては、災害時のシュミレーションや訓練も十分にできておらず、センターの被災状況の連絡訓練がやっと始まったところであり、実際にどのように機能できるかを含め今後検討していきたい。